

◎援護の経費

戦傷病者戦没者遺族等援護事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 戦没者の遺族と市民

意図 戦没者の追悼と、平和を祈念するため。

効果 対象者の生活を援護し、保障する。

【事業の内容】

(1) 戦傷病者戦没者遺族等援護事業

- ・戦没者の追悼式典を遺族などの方々と行った。
- ・鎌倉市遺族会へ補助金を交付した。
- ・戦傷病者、戦没者等の遺族への給付金請求受付を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
910	910	868		42

主な支出内訳

・戦傷病者戦没者遺族等援護事業

戦没者追悼式参加者記念品	168
戦没者追悼式会場設営業務委託料	58
戦没者追悼式献花及び会場盛花設置業務委託料	231
戦没者追悼式会場使用料	119
鎌倉市遺族会補助金	200

主な特定財源

・国県支出金	79
--------	----

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-08 戦傷病者戦没者遺族等援護事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	0010 戦傷病者戦没者遺族等援護事業					
主管課	生活福祉課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	戦没者の遺族に対する援護活動を通じて、戦没者追悼式など戦没者等への追悼の意を表すとともに、平和を祈念するため。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	868千円	847千円	849千円			
	(国・県)	79千円	198千円				
	(負担金等)						
	(一般財源)	789千円	649千円	849千円			
	人員配置数	0.8人	0.8人	0.8人			
	人 件 費	7,499千円	7,721千円	7,629千円			
協働の パートナー	鎌倉市遺族会	鎌倉市遺族会	鎌倉市遺族会				
事務事業 運営経費	総事業費	8,367千円	8,568円	8,475円			
	市民1人当 りの経費	47円	49円	48円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 戦没者追悼式への高齢遺族の参加しやすい環境づくりについて、引き続き検討が必要である。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 戦没者追悼式の開催に際し、JR大船駅から会場となる鎌倉芸術館まで、開式前と開式後にそれぞれマイクロバスを試験的に運行し、高齢遺族が参列しやすいように配慮した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 引き続き、マイクロバスの運行を含めて、戦没者追悼式への高齢遺族の参加しやすい環境づくりについて、検討していきたい。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 高齢遺族が戦没者追悼式に参列しやすいように、配慮していきたい。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	鎌倉市遺族会の活動に対して支援を行うとともに、遺族が高齢化していくことへの配慮を行いながら、引き続き、援護を行っていく。				
担当課長氏名:		生活福祉課長 曾根 健治			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	戦没者等の遺族援護の観点から、今後とも援護を行っていく。				
担当部名	健康福祉部	部長名	石井 和子		